

よう れん きん

溶連菌感染症

(A群溶血性レンサ球菌感染症)



監修：静岡厚生病院
小児科 診療部長
田中 敏博 先生



もくじ

- Q1 溶連菌とは？
- Q2 主な症状は？
- Q3 感染経路は？
- Q4 検査方法は？
- Q5 どのような治療方法がありますか？
- Q6 溶連菌に感染しないためには？
- Q7 学校や職場はいつから行けますか？



Q₁ 溶連菌とは？

A₁ 溶連菌は、正式には A 群溶血性連鎖球菌と
いいます。溶連菌は、急性咽頭炎の主な原因微
生物のひとつです。5 歳頃～小学校低学年頃に発症しや
すいのですが、大人でも発症することはあります。3 歳以下
のお子さんでは、症状が出ることは比較的まれです。

ほとんどの方が急性咽頭炎の症状でおさまるのですが、
まれにリウマチ熱や腎炎、関節炎のような合併症を引き起
こすことがありますので、経過には注意が必要です。治療
の原則は抗菌薬投与であり、処方された際には最後まで
飲み切ることが大切です。

溶連菌は、症状が出ないまま常在菌として保菌している
方 (5 ～ 15%) もいますが、無症状であれば治療の必要
はないといわれています。

一年を通じて感染はありま
すが、特に春から夏にかけて
と冬に流行することが多くなっ
ています。



急性咽頭炎とは

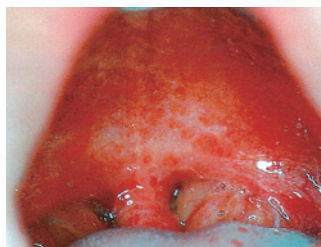
咽頭 (鼻の奥からのどまでの部分) にウイルスや細菌が
感染することにより、炎症を起こしている状態のことをいいます。
いわゆる、かぜをひいてのどが痛い時の状態です。主な症状は、
のどの痛みや違和感、発熱などです。

Q₂ 主な症状は？

A₂ 急な発熱 (38 度以上) と、のどの痛みが主な症状で、のどの赤みを伴うことが一般的です。せきやくしゃみ、鼻水、鼻づまりなどの症状は必ずしも目立ちません。

初期症状の回復後にリウマチ熱や腎炎などの合併症を引き起こすことがありますので、経過には注意が必要です。顔や手足がむくんだり、血尿 (赤色や赤褐色)、関節痛などがあった場合は、速やかに医療機関に相談しましょう。

溶連菌感染症による のどの所見

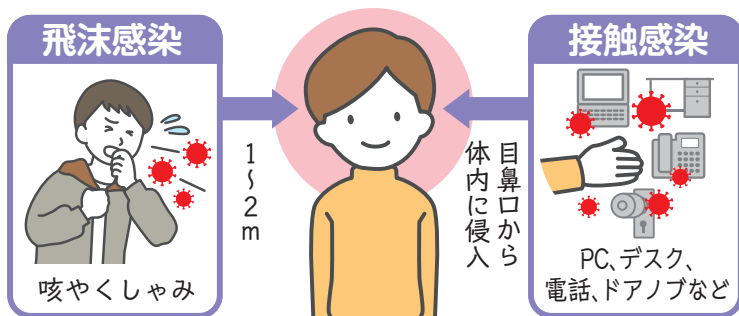


Takahisa SAKUMA,
Infant and Children's Pharynx and Skin with Infectious Diseases 2005.P110-111. より引用

Q₃ 感染経路は？

A₃

飛沫感染と接触感染に注意します。
食べ物を介して感染することもあります。



Q₄ 検査方法は？

A₄

溶連菌の診断には、主に迅速抗原検査キットが用いられます。

検体はのどの奥から採取し、迅速抗原検査キットの場合、5～10分程度で結果がわかります。

その結果と症状などから、総合的に診断します。



Q5 どのような治療方法がありますか？

A5 治療薬として、主にペニシリン系の抗菌薬が処方されます。

ただし、アレルギーがある場合や、再発を繰り返す場合など、他の抗菌薬が処方されることもあります。

処方された抗菌薬は、日数分すべて飲み切ることが大切です。

Q6 溶連菌に感染しないためには？

A6 予防の基本は手洗いとうがいです。

石鹸やハンドソープを使ってしっかりと手を洗いましょう。またタオルの共用は避けましょう。

溶連菌にはアルコール消毒も有効です。



Q7 学校や職場はいつから行けますか？

A7 学校保健安全法施行規則では、「適正な抗菌薬治療開始後 24 時間を経て全身状態が良ければ登校可能」となっています。

成人の通勤や通学に関して特に規定はありませんが、回復するまで控えることが望ましいでしょう。





2024 年 11 月作成
QS2404001
(1007164) HK